

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

No. 10
2006. **4**



SERVICE Above Self

2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

塚原 房樹 FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



超我の奉仕

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	01
2006年国際協議会の報告	03
ロータリーの友委員会報告	04
地区チーム研修セミナー開催について	05
第2グループIM開催される	06
第8グループおじゃまします例会	07
外国人による日本語弁論大会in苫小牧	08
会員訃報・新入会員のご紹介	09
ご協力に感謝申し上げます	10
例会変更について・文庫通信	11
地区カレンダー	12
出席報告	13

■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度
国際ロータリー第2510地区
ガバナー 塚原 房 樹

悟後の悟り・ロータリーは生涯学習の場

その人の人生においてロータリーと深く関わる人もいれば、ほどほどに付き合う人、ロータリーに席を置くだけの無関心の人もいるでしょう。人生とは何かという広く漠然とした問題に私は答えることは出来ません。しかし馬齢を重ねてきた自分の人生を省みて、なるほどこれが人生かとはっきり感ぜさせられるものがあります。それは私を一人の人間として育ててくれたもの、現に育ててくれつつあるものつまり出会いであります。私は自分一個の力で生きているわけではなく、自力で成長しているわけでもありません。さまざまの先人の残してくれた知恵、あるいは現在の先輩友人の導きによって人間となってきたわけで、特に私はロータリーで結ばれた友情に人生の人生たる証しを学ばせてもらっています。

ロータリーは単なる偶然の出会いや、好き嫌いでなく組織立てられた友情です。ロータリアンは自薦してなれるものではなく、他のロータリアンから推薦されてはじめて会員となれます。ただ推薦されずにロータリーの会員になった人がいます。ロータリーの始祖ポール・ハリスその人です。

では世界初のシカゴロータリークラブの第1回目の会合に出席したポール以下3人の会員はシカゴクラブのチャーターメンバーなのでしょうか。厳密に言えばチャーターメンバーとはRI加入前に選ばれた創立会員のことで、当時はまだRIもチャーター制度も無く、したがってチャーターメンバーとは言わず、4人には敬意を表して『パイオニア・ベテラン』と呼んでいます。

ではわれわれは何故ロータリーに選ばれたのでしょうか。いうまでも無くロータリーの目的を実現するためです。そしてロータリーの目的には、疑いもなく職業倫理の高揚という一つの哲学があります。つまり我々はロータリーの職業奉仕の哲学を遂行するためにロータリーの会員になりました。

ここに基本的な二つの問題があります。その一はロータリーにおける個人の問題であり、その二はロータリーにおける組織の問題です。第一に哲学をやるのですから、その基本的な主体は会員個人であります。またその活動は我々の日常生活から離れがたい、きわめて内面的なものになります。それは我々の考え方と行動の基本としての哲学であって、余暇に片手間にやればいいというものではありません。言い換えれば我々には本来の仕事があり、その外にロータリーがあると考えるのは間違っています。つまりわれわれの生活のある一部分にロータリーがあるのではなくて、我々の仕事や生活の基本がロータリー的でなければなりません。ロータリーの綱領の第三ははっきりそのことを示しています。

第二に我々の哲学は、孤立していないということです。ロータリーにおける主体は、会員個人ではありますが、その主体は《知り合いを広めていく》というロータリーの基本的な行動の一つを通して、他の会員と係わり合い、他の会員を増やしていくことによって、共通の目的と精神に立つ組織を拡大し、同時にそのことによって我々の職業奉仕の哲学を普遍のものとしします。みんなで力をあわせ、その理想を達成しようというのがロータリーという世界的な組織の存在する理由であることを考えれば、それは容易に理解できましょう。

職業奉仕の哲学の実践がロータリアンの務めと申しました。しかし、ロータリーの職業奉仕には他の奉仕部門（クラブ、社会、国際奉仕）と違い具体的な実践マニュアルがありません。ロータリーのマニュアル書である『手続要覧』の職業奉仕の欄を見ても《職業宣言》《四つのテスト》などについてわずか3ページ弱しか記載されておらず、全体の1%にしかすぎません。このことはRIが職業奉仕をないがしろにしているのではなく、ロータリアンは各人の業界から選ばれた人たちで、すでに入会前に職業奉仕の下地は常識として出来ている、

だからロータリー入会後は例会で異業種の会員と切磋琢磨して更により良い職業人になることを期待されているのです。いまさら『手続要覧』で職業奉仕についてのべる必要はないのです。ロータリーの職業奉仕の実践は全てロータリアン個人の叡智に任されています。ロータリーのロータリーたる所以は生涯学習にあります。より良いロータリアンになるということは例会で自分の業界以外の会員と知り合い「己の限界を知り以って転機を生ぜしむる」ことが必要なのです。

今申し上げたように、ロータリアンは入会前に自分の業界の中で職業奉仕の大切さを悟ったおかげでロータリークラブの会員に推薦されました。そしてロータリー入会后、今度は異業種の会員と交わり更に悟りの道を歩むこととなります。禅宗では悟りの後の悟りを「悟後の悟り」、または「聖胎長養」といっています。ロータリーは職業人の「悟後の悟り・聖胎長養」の場なのです。「聖胎長養」とは、修行者が重ねて修業に努め、仏の威儀を長く保つということです。「聖胎」とは、仏となるたねを宿した身体の意です。禅宗では厳しい修行に明け暮れ、師匠の印加を受けた後もまた更に俗世界で修行する義務が課せられます。一度悟った後更に人間社会のさまざまな苦楽を実際に経験してその後布教が許されるのです。ごく卑近な例に例えるのなら、「聖胎長養」とは医学生の「インターン」に当たります。卒業後更に実践経験を積むのです。ここでもう少し聖胎長養について申し上げますそれは「面壁9年」の達磨大師から数え6代目の慧能は、十数年山中での聖胎長養を師から課せられたことがそもそも始まりです。また日本の大燈国師は師の大応より26歳で印加を受けましたが、京都の五条の橋の下の乞食や非人の群れの中で20年の聖胎長養の後布教をするようにと云われました。その後醍醐天皇は当代第一の禪者は大燈をおいてないということを知り、すぐ会いたいと云われます。それは無理でしょう。彼は五条橋下の乞食の中にいますから。帝は使者を使って探させます。使者は大燈が昔から好物だった「まくわ瓜」を持って河原に行き乞食の群れに向かって「脚無くして来るものにこれを与えよう」といいます。乞食たちは呆然とします。そこへぼろぼろの衣を着た乞食が来て「手無き手でそれを渡せ」といいます。この一言で大燈は見破られてしまいます。この禅問答から大燈は後醍醐天皇に付きまとい、とうとう帝の建立する大徳寺へ迎え入れられることになりました。この話は創作でしょうが私の好きな話です。

要するにロータリーは職業人の『悟後の悟り・聖胎長養』の場なのです。

ロータリー入会前に培ってきた自己の人生学の集大成の場なのです。そこに欠かせないのが異業種の会員同志の精神的親睦なのです。政治、宗教、職業観、人生観など各人の信条は異なります。その違いを認め合うことがポール・ハリスの『寛容論』なのです。互いの違いを認め合い、更に高い次元に切磋琢磨してスパイラルしていくために『寛容の心』は欠かせないのです。

さて4月は雑誌月間です。公式訪問先のいくつかのクラブでは雑誌委員の方が「ロータリーの友」を会員に配布する時、今月の見どころ、読みどころを丁寧に解説されていました。出来れば指導者のために年4回発行される「ロータリーワールド紙」やRIのウェブサイトの情報も積極的にPRしてください。クラブ活性化に情報は欠かせません。

久しぶりに石庭で有名な京都の龍安寺へ行って参りました。案内のリーフレットに次の言葉がありました。

《禅とは「自己」を拝む宗教です》

《禅とは「自己」の自覚を深く掘り下げる宗教です》

この禅という言葉はロータリーと置き換えてみたらどうでしょうか。

《ロータリーとは「自己」を拝む運動です》

《ロータリーとは「自己」の自覚を深く掘り下げる運動です》

ロータリーも禅と同じく究極的には「自己」の仏性を磨く運動です。これは生涯通じて課せられたわれわれの義務なのです。最後にもう一つ皆さんもご存知の易経の《積善の家に余慶あり。積不善の家に余殃あり》という言葉をお願いします。北国もいよいよ春めいてまいりました。どうかロータリーの皆さん、温かい奉仕の心を育んでください。



2006年国際協議会の報告

国際ロータリー第2510地区

ガバナー・エレクト 丸山 淳 士 (札幌真駒内RC)

出発に際しましては、多大なご支援を頂戴し、大変感謝しています。有り難うございました。

2006年2月16日から23日まで、米国カリフォルニア州サンディエゴにて開催されました国際協議会に出席して参りました。

会場は、昨年までのアナハイムから移動して最初の会議です。

サンディエゴはカリフォルニア州の最南端でメキシコと国境を接しています。

会場のマンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴは港に近接して建っており、港は軍港としても使用され、現役の空母も停泊していました。

到着するとホテルには既に1週間前に到着していた研修リーダーが総出で出迎えてくれました。オリエンテーションの後翌日から本会議とグループ討論のスケジュールがぎっしり詰まっていました。

土曜日は国際親善晩餐舞踏会でそれぞれの国の女性は民族衣装の正装での参加です。

21日の夜は国際祭りの夕べがあり、各国から3分間で自国をアピールする唄有り踊り有りの時間を過ごしました。

私どもは「マツケンサンバ」を出し物にしたのですが、私たちの直前がブラジルの本場の「サンバ」であったのでちょっと氣勢をそがれましたがそれでも好評のようでした。

22日にはお別れ晩餐会と閉会本会議で幕を閉じました。

最後に、ウィリアム・ビル・ボードRI会長エレクトが演説で「この1週間で体重の増えた方は手を挙げてください！」と呼びかけ、一同大笑いでした。

それこそ、ロータリー漬けの1週間で、せっかくのサンディエゴの空気も十分に吸うことが出来ませんでした。学んだことを「率先しよう」で実践に移したいと思います。



ロータリーの友 提供



ロータリーの友 提供

RI会長エレクトは、より良きロータリーとより良きロータリアンを目指すことが大きな目標であり、目標達成にはいろいろな手段がある。ロータリーの機構はこの手段を提供することであり、各クラブを通して個々のロータリアンが「モザイク」のように、個性を出しながら率先して行動しようと呼びかけられました。

良い手段は継続して実践しなければならない。継続は強い力である。とも述べられ、次年度は100年にわたって築かれたロータリー活動をまさに実践に移す時代です。

希望に満ちたロータリーを旨とし、共に率先して行動しましょう。



ロータリーの友委員会報告

ロータリーの友地区委員
黒澤昌彦 (札幌東RC)

■雑誌月間によせて

4月は雑誌月間です。会員の皆様にご購読頂いている「ロータリーの友」誌は、地域公式雑誌としてRIより認定されており、「友」誌の購読は会費を取めること、例会に出席することと共にロータリアンには義務付けられております。

昭和27年（1952年）日本ロータリーが第60地区と第61地区に分割された後に、両地区全体の連絡と意思の疎通をはかる機関誌として「友」誌が創刊されました。2003年1月の創刊50周年を機にリニューアルされた「友」誌は、非常に読み易くなった、投稿記事が増えてロータリーが身近に感じるようになった、よその地区の活動が紹介されており参考になった等大変好評を頂いております。

しかし、「友」誌の読書率は余り高くないと云われております。地区内ロータリアンの皆様には「友」誌の更なる購読と、ロータリーのテキストとして有効利用されることをお願い申し上げます。

また、毎月例会で「友」誌の内容を会員に紹介しているクラブは余り多くないと聞いております。クラブ会長・幹事・プログラム委員長には、例会（出来れば第1例会）での「友」誌の紹介時間を是非設けて頂きたく強くお願い申し上げます。

「友」事務所に申し込むと、クラブ雑誌（ロータリーの友）委員長には1週間程早く配布して貰えます。まだ申し込みされていないクラブには手続きされることをお勧め申し上げます。

「友」誌を身近に置き、ロータリーの活動のため役に立てられることを切望いたします。

■アンケート中間報告

先日、クラブ雑誌委員長にお願いした「友」誌に関するアンケートは、未だ半数くらいしか回収されておりましたが、ほとんどのクラブが1週目の例会時に配布しております。

又、「友」誌の内容を紹介しているクラブは回答クラブの1/3で、時間は3～5分とのことでありました。

■委員会報告

平成18年3月13日（月）午後2時よりメルパルクTOKYOにて、ロータリーの友委員会常任委員・地区委員合同会議が開催された。冒頭、渡邊隆ロータリーの友委員長（習志野RC）は「任期も残り110日余りになりましたが任務を全うして頂きたい」との挨拶があり、その後各地区委員より活動報告・質問等があった。

クラブ雑誌委員長会議、地区クラブ奉仕委員会の分科会で雑誌委員長セミナーを開催した地区の報告があり、クラブ雑誌委員長の役割の重要性を痛感した。

5月8日（月）に次期地区委員との合同オリエンテーションが予定されているので、このことを引継ぎ事項として伝えたい。

地区チーム研修セミナー開催について

国際ロータリー第2510地区 2006-2007年度 地区チーム研修セミナー 開催について

次期地区幹事

齋藤 康嗣 (札幌真駒内RC)

日 時：平成18年3月5日(日) 10時30分～14時30分

場 所：ホテルライフオー札幌（札幌市中央区南10条西1丁目）

出席者：塚原ガバナー、丸山ガバナー・エレクト、酒井ガバナー・ノミニー、
遠藤正之パスト・ガバナー、遠藤秀雄パスト・ガバナー、次期地区ガバナー補佐、
次期地区委員会委員長、次期地区幹事、事務局



2006-2007年度の地区チーム研修セミナーが3月5日に開催されました。塚原ガバナーの点鐘によりセミナーが始まり、サンディエゴの国際協議会から帰られた丸山ガバナー・エレクトから、次期ガバナー補佐、次期地区幹事の紹介があり、続いて次年度RIのテーマ、次年度地区運営基本方針の説明がありました。

遠藤正之パスト・ガバナーからは会員増強、DLP、CLP、ロータリー財団の説明、次期地区幹事

からは年間スケジュール、次年度の地区予算の説明がありました。午後からは次期地区オン・ツー・ソルトレークシティ委員長遠藤秀雄パスト・ガバナー、各次期地区委員会委員長から自己紹介と活動計画の説明がありました。

最後に塚原ガバナーの「まとめ」のお話で、セミナーを閉会しました。

次年度のRIのテーマ、次年度地区の目標は次のとおりです。

2006-2007年度RIのテーマ 「LEAD THE WAY」 率先しよう

- 地区の目標
1. 「クラブ1名の純増を目指そう」
 2. 「毎年あなたも100ドルを」
 3. 「RIテーマ“率先しよう”の実践
 4. 「ロータリアン自身が広報マン」
 5. 「ロータリー家族」

第2グループIM(都市連合会)開催される

第2グループ ガバナー補佐 瓜 俊 雄 (砂川IRC)



講話をされる塚原ガバナー

引き続きこの都市連合会のメインとして、塚原房樹ガバナーから『日本ロータリーの黎明』という演題で講話を頂きました。

講話では、1914年頃にアメリカのダラスRCで日本人として第1号のロータリアンになった福島喜三次氏から感銘を受けた米山梅吉氏が初代会長、幹事に福島氏がなり東京RCを創立し、翌1921年に国際ロータリーから承認をされた頃の話から、戦中、戦後の混乱期におけるロータリークラブ運営の苦労等について、またポール・ハリスが来日した際の逸話をお話頂きましたが、塚原ガバナーのロータリークラブに対する愛情と造詣の深さに、出席した会員一同改めて感銘を受けました。

懇親会では、滝川RC西村恒則親睦委員長の司会のもと、ビンゴゲーム等が行われ、たいへん和やかな雰囲気の中で親睦が深められました。

最後は全員で「手に手つないで」を合唱し閉会となりました。

さる2月25日(土)、滝川ロータリークラブをホストクラブに、滝川RC山本毅実行委員長のもと滝川ホテル三浦華園に於て、塚原房樹ガバナーをお迎えして赤平RC、芦別RC、砂川IRC、滝川IRCから多数の会員の出席を得て盛大に開催されました。滝川IRC伊藤和男幹事の総司会で、千葉清ガバナー補佐の点鐘から始まり、ホストクラブの滝川RC中島健会長から歓迎の挨拶、千葉清ガバナー補佐挨拶の後、次期ガバナー補佐として赤平RCの田中良一氏が紹介されました。

続いて各クラブの次年度会長、副会長、幹事、会長エレクト紹介の後、鈴木忠男前ガバナー補佐へ千葉ガバナー補佐から記念品が贈呈されました。



懇親会にて

(最前列、右から塚原ガバナー、千葉ガバナー補佐・前列手前より2列目、右から鈴木忠男前ガバナー補佐、藤田砂川IRC会長、中島滝川IRC会長)



「手に手つないで」合唱

(左から塚原ガバナー、千葉ガバナー補佐、中島滝川IRC会長、田中芦別RC会長)

ロータリー創立記念例会 第8グループおじゃまします例会 塚原房樹ガバナーを迎えて

静内RC

2月22日 静内ロータリークラブ夜間例会において、ロータリー創立記念例会・第8グループおじゃまします例会が、塚原房樹ガバナーをお迎えして行われました。第8グループでは、年度に一度各クラブをお互いに訪問しあう「おじゃまします例会」を行っております。これは年度の会長、幹事をはじめ理事、会員がグループ内の各クラブを訪問しあつて例会に出席し、情報交換、親睦などを目的に、交流を行っております。

当日はロータリー創立101年を記念して塚原房樹ガバナーをはじめ、第8グループ各クラブ会員、静内インターアクトクラブ関係者など、90名で記念例会を開催しました。

午後5時より、例会に先立ち、塚原房樹ガバナーを囲んで静内ロータリークラブ役員、理事、関係者による懇談会を開き、静内RCの上半期までの経過報告・クラブの運営に関すること、クラブリーダーシッププランの今後の取り組み方など、多方面に渡って懇談をし、ガバナーより貴重なご意見を賜りました。是非とも今後のクラブ運営に活かして行きたいと思っております。

午後6時より記念例会が、不動会長の開会点鐘によって始まり、開会宣言、ロータリーソング『奉仕の理想』の合唱、ご来賓および参加クラブ会員の紹介があり、続いて新入会員（2名）の入会式、ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェローの記念バッジ（2名）、米山奨学会功労者表彰（1名）を塚原ガバナーに贈呈をして頂き、会長の時間では不動会長より歓迎の挨拶、続いて、塚原房樹ガバナーよりロータリー創立記念スピーチを頂きました。シカゴロータリークラブ創立のお話から1911年にカナダにロータリークラブが出来て初めて国際ロータリーとなったこと、続いて日本のロータリーの歴史について、触れて頂きました。

日本で最初のロータリークラブが発足したのは、1920年創立の東京ロータリークラブで、創立の準備に奔走した米山梅吉氏、福島喜三次氏などの先人の功を忘れることは出来ません。また、日本人最初のロータリアンは実は福島喜三次氏であったこと、関東大震災の折には国際ロータリーから大阪ロータリークラブ（福島喜三次氏）を通じて支援を頂き、その後各国のRCから総額89,000ドル（1923年当時）の義捐金が寄せられ、当時のロータリアンが深く感動したことが後の日本でのロータリー発展に繋がっていること、1940年、第二次世界大戦のために国際ロータリーから脱退したが名称を変えて例会等の活動を継続したこと、など貴重なお話を頂きました。

その後、出口ガバナー補佐の祝杯によって懇親会が始まり、静内RCの若手メンバー5人がガバナーに喜んで頂ければと2晩練習をしたシャネルズの有名な歌を2曲、顔を黒く塗り変装をして披露させて頂きました。続いて静内町の郷土芸能である阿波踊りを子供主体のメンバーが披露し参加者全員より喝采を浴びました。

終わりに、全員でロータリーソング「手に手つないで」を歌い、高田会長エレクトの閉めの挨拶と吉田親睦委員長の手締めで楽しい時間を過ごしました。

塚原房樹ガバナーに賜りました貴重な時間とお話は、静内ロータリークラブにとって有意義で感銘深い例会となりました。今後のロータリー活動の推進に役立てて行きます。ありがとうございました。



外国人による日本語弁論大会in苫小牧

会報雑誌委員長 川村 義昭 (苫小牧東RC)

3月12日(日) 苫小牧東RC主催により苫小牧在住の外国人による「外国人による日本語弁論大会in苫小牧」が開催された。開催に当たりロータリー財団の協力、また苫小牧市、苫小牧市教育委員会、NHK室蘭放送局、北海道新聞社苫小牧支局、苫小牧民報社、苫小牧駒沢大学、苫小牧高等工業専門学校の後援を戴いた。

会場の苫小牧市文化交流センターには2時の開始に合わせて続々と聴衆や弁士たちが集まり始め開始時には、定員380人の会場はほぼ満席となった。

今回の弁論大会は公募の結果10ヶ国14人の弁士が出場することになり、それぞれのお国の民族衣装での登壇者も半数に及び外国人による弁論大会の雰囲気醸し出した。



苫小牧市には現在約450名の外国人が住んでいるが、一般の人達にとって普段は交流の機会はさほど多くないのが現状であり、今回は外国人が、どのように日本や苫小牧のことを思い、考えを持っているのかを知るよい機会でもあり、この弁論大会を通して国を超え、文化の違いを超えて相互理解を深め、さらに交流を深めることを願い企画したものである。当日は苫小牧市長はじめ塚原房樹ガバナーの御臨席を賜った。午後2時に開始され、最初に御来賓、審査員の紹介、弁士である外国人の紹介と進み、当クラブ松下昌平会長の挨拶に続き、来賓を代表して櫻井忠苫小牧市長の祝辞の後、いよいよ本番の弁論の開始となった。弁士は出番が近づくにつれ緊張が高まっていく様子であったが会場の応援団の声援を受けて登壇した。イランのナイメさんは「私たちは物質的、経済的に恵まれた社会に住んでいて幸せって何かわからない人が多いような気がする。幸せは貧しくとも自分の身近にあり、その事に気づく目を持って幸せを感じてほしい」など内容は「自分の国のこと・日本のこと・住んでいる苫小牧のこと・自分や周りの生活のこと・人と人のかかわりのこと」など多岐にわたり、いずれも堂々と弁論を繰り広げ聴衆の心に響く内容であった。

中でもきれいな民族衣装をまとった出場者は聴衆の目を楽しませ、ロバート君の自作の大きなイラストを使った「失敗から学ぶ“やっちゃった”」の話はユーモアに溢れ、会場を笑いに引き込みいかにもアメリカンの感じであった。

審査は、みな素晴らしい内容であったため審査員の頭を悩ませたようであったが、結果グランプリにはインドネシアのブディマン君(苫小牧高等工業専門学校4年生)が選ばれた。準グランプリには韓国の安永来(アン・ヨンレ)君と中国(内モンゴル出身)のチリムガさんが選ばれた。また特別賞としてアメリカのロバート・オルソン君と韓国の三浦志鮮(ミウラ・ジソン)さんが選ばれた。

会場では審査の合間にアトラクションとして、苫小牧RCと苫小牧東RCが立ち上げた「苫小牧少年少女合唱団」の歌が披露され、きれいな歌声に暫し耳を傾けた。また今回の弁論大会に合わせて前日から会場2階で「ふるさと国際交流展」が開催され各国大使館・領事館から寄せられたポスター、民芸品などが展示され、これらの一部は弁論大会会場での抽選会により来場者に贈られた。



会員計報・新入会員のご紹介

会 員 計 報



嶋崎 腆 会員
(静内RC)
2005年11月1日
ご逝去(享年65歳)

【ロータリー歴】
1988年(昭和63年)6月入会
1991~1992年度 親睦委員長
1993~1994年度 増強委員長
1994~1995年度 国際奉仕委員長
1996~1997年度 SAA委員長
1998~1999年度 職業奉仕委員長

【表彰】
米山功労者
ポール・ハリス・フェロー



秋山 宏 会員
(札幌南RC)
2006年1月7日
ご逝去(享年90歳)

【ロータリー歴】
1956年(昭和31年)6月入会
1962~1963年度 幹事
1966~1967年度 副会長
1968~1969年度 理事・職業奉仕委員長
1969~1970年度 会長
1976~1977年度 ロータリー情報委員長
1989~1990年度 米山奨学会委員長

【表彰】
ポール・ハリス・フェロー



松崎 孝一 会員
(札幌南RC)
2006年1月13日
ご逝去(享年72歳)

【ロータリー歴】
1982年(昭和57年)8月入会
1989~1990年度 幹事
1993~1994年度 副会長
1996~1997年度 ロータリー情報委員長
2001~2002年度 職業分類委員長

【表彰】
ポール・ハリス・フェロー

**新入会員
のご紹介**
(敬称略)



在田 恒昌
静内RC
平成17年7月6日入会



吉田 亨秀
静内RC
平成17年7月6日入会



嶋崎 元
静内RC
平成17年7月20日入会



天野 晴緒
静内RC
平成17年8月17日入会



不動 新作
静内RC
平成17年8月17日入会



藤沢 澄雄
静内RC
平成17年10月26日入会



菊池 一好
静内RC
平成17年11月2日入会



草野 喜昭
静内RC
平成17年11月30日入会



大森 康正
静内RC
平成17年12月21日入会



宿田 聖二
栗山RC
平成17年9月20日入会



榎崎 忠彦
栗山RC
平成17年10月4日入会



山崎 信治
栗山RC
平成18年2月7日入会



中村 彰真
栗山RC
平成18年2月7日入会



岸山 一郎
美唄RC
平成17年12月1日入会



伊藤 恭子
苫小牧北RC
平成18年1月10日入会



角谷 賢治
札幌モーニングRC
平成18年2月15日入会



高橋 宏
札幌大通公園RC
平成18年3月17日入会

ご協力に感謝申し上げます

ロータリー
財団への
ご協力に感謝
申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

向田 甚	市会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
仁志 紘	一会員	1回	(岩見沢RC)	2月28日
岡本	等会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
大西 敏雄	会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
嵯峨 義輝	会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
竹内	守会員	3回	(岩見沢RC)	2月28日
高薄 浩志	会員	1回	(札幌RC)	2月28日
山中 善夫	会員	1回	(札幌RC)	2月28日
山光	進会員	3回	(札幌東RC)	2月24日
川井 一男	会員	1回	(札幌南RC)	2月24日
吉村 克之	会員	1回	(小樽RC)	2月10日
光 銭裕	二会員	5回	(函館五稜郭RC)	2月24日

ポール・ハリス・フェロー

勝井 裕幸	会員		(岩見沢RC)	2月28日
武蔵 輝彦	会員		(岩見沢RC)	2月28日
高谷 郁男	会員		(岩見沢RC)	2月28日
上出 利光	会員		(札幌西RC)	2月28日
笠原 路子	会員		(札幌真駒内RC)	2月10日
横田	昭会員		(札幌南RC)	2月24日
千秋 亨	会員		(新札幌RC)	2月28日
伊藤 金蔵	会員		(伊達RC)	2月10日
鈴木 啓一	会員		(伊達RC)	2月10日
黒田 博久	会員		(函館RC)	2月24日

米山記念
奨学会への
ご協力に感謝
申し上げます

米山功勞者

松原 章	会員	1回	(滝川RC)	2月21日
山本 毅	会員	1回	(滝川RC)	2月21日
井門 英明	会員	5回	(美唄RC)	2月24日
毛利 清徳	会員	2回	(美唄RC)	2月24日

米山功勞法人

會澤高圧コンクリート(株)	1回	(静内RC)	2月2日
---------------	----	--------	------

例会変更について・文庫通信

例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 白 老RC：4月18日（火）移動例会 12：30～
場所：はしもとコーヒー（白老町字竹浦）
- 岩見沢RC：4月21日（金）3クラブ（岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC）合同夜間例会
場所：ホテルサンブラザ 18：00～
- 岩見沢東RC：4月25日（火）の例会を4月21日（金）に変更
3クラブ合同夜間例会 18：00～
- 室蘭東RC：4月26日（水）振替休会
4月27日（木）室蘭3RC合同夜間例会 18：30～
場所：室蘭プリンスホテル
- 室蘭北RC：4月25日（火）振替休会（4月27日合同例会の振替）
- 当 別RC：4月25日（火）夜間例会 18：00～
場所：田西会館
- 苫小牧北RC：4月25日（火）移動例会 18：00～
場所：なごみの湯（苫小牧市柳町2-7-6 電話：0144-57-0753）

クラブメールアドレスの変更

4月1日より室蘭RCのメールアドレスが下記に変更されます。
muroran-rc@purple.plala.or.jp

クラブの住所変更について

3月28日より栗沢RCの住所が町村合併のため下記の通り変更になります。
新住所：〒068-0127 岩見沢市栗沢町本町11番地 栗沢町商工会館（電話番号は変更ありません。）

文庫通信 222号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

興味深い講演から

- | | |
|---|--|
| ◎「時代を読む」
田原総一朗 2005 12p (D.2680地区大会) | ◎「青少年よ、『重力』と遊べ」
伴 義孝 2005 12p (全日本RYLA大会報告書) |
| ◎「歴史の謎について」
松平定知 2005 9p (D.2790地区大会) | ◎「限りなき挑戦」
衣笠祥雄 2005 15p (D.2650RYLA報告書) |
| ◎「ロータリー100年を迎えて」
千 玄室 2005 6p (D.2650地区大会) | ◎「子どもの痛みが聞こえますか」
佐藤辰弥 2005 6p (D.2650RYLA報告書) |
| ◎「CELEBRATE ROTARY 見直そう原点を」
高橋堯昭 2005 11p (D.2540地区大会) | [上記申込先：ロータリー文庫（コピー）] |
| ◎「人を育てる」
深川純一 2005 22p (全日本RYLA大会報告書) | |
| ◎「未来に望む若い人」
千 玄室 2005 5p (全日本RYLA大会報告書) | |

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2006年4月 米貨1ドル=118円

地区カレンダー（4月・5月）

4月 ローターリー雑誌月間	
1 (土)	
2 (日)	
3 (月)	
4 (火)	
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	GSE委員会 帰国報告会 (札幌)
9 (日)	地区協議会 (札幌)
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	第3700地区 (韓国) 地区大会
15(土)	第3700地区 (韓国) 地区大会
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	第10・11グループ合同IM
23(日)	地区米山記念奨学会カウンセラー研修会 オリエンテーション (札幌)
24(月)	
25(火)	
26(水)	
27(木)	
28(金)	
29(土)	みどりの日
30(日)	

5月	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	憲法記念日
4 (木)	国民の休日
5 (金)	こどもの日
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10(水)	
11(木)	第3グループIM (美唄)
12(金)	第12回ロータリー青少年交換研修会(長崎)
13(土)	第12回ロータリー青少年交換研修会(長崎)
14(日)	第1グループIM (深川)
15(月)	札幌北RC創立35周年記念式典 (札幌)
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

2月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,064人(100人)
増加会員数	78人
当月平均出席率	82.73%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.2.28	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	85.71
	羽 幌	4	49	45	-4	1	71.62
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	75.00
	小 平	4	13	13	0	0	78.85
	留 萌	4	49	50	1	0	95.62
	小 計		159	156	-3	3	81.36
	2	赤 平	4	34	35	1	2
芦 別		4	48	46	-2	0	84.52
砂 川		4	50	53	3	0	98.47
滝 川		5	106	105	-1	1	75.00
小 計			238	239	1	3	84.73
3	美 唄	4	41	41	0	0	87.14
	江 別	4	36	38	2	1	86.48
	江 別 西	2	35	35	0	3	86.11
	岩 見 沢	4	95	95	0	0	90.06
	岩 見 沢 東	4	35	36	1	4	87.10
	栗 沢	4	24	23	-1	1	92.34
	栗 山	4	26	30	4	2	98.22
	当 別	4	38	36	-2	1	78.47
小 計		330	334	4	12	88.24	
4	札 幌	4	123	137	14	0	98.18
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	81.25
	札 幌 北	4	43	41	-2	5	92.44
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	79.11
	札 幌 西	4	72	71	-1	3	90.31
	札 幌 西 北	4	48	49	1	2	94.36
	札 幌 手 稲	3	41	40	-1	1	98.31
	小 計		419	432	13	16	91.75
5	札 幌 東	4	121	118	-3	0	98.37
	札 幌 清 田	4	28	28	0	7	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	69	-1	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	47	1	3	88.14
	札 幌 南	3	89	93	4	0	96.67
	札幌大通公園	4	19	18	-1	4	81.93
	札幌セントラル	4	17	17	0	6	69.70
	新 札 幌	4	32	34	2	2	92.50
小 計		422	424	2	22	90.91	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.2.28	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	75.96
	倶 知 安	4	50	50	0	3	49.50
	小 樽	4	64	71	7	1	82.20
	小 樽 南	4	82	81	-1	0	92.60
	小 樽 銭 函	4	25	25	0	3	89.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	79.53
	余 市	4	44	44	0	4	79.10
	小 計		304	312	8	11	78.27
7	千 歳	4	61	67	6	4	80.60
	千歳セントラル	4	27	28	1	0	83.10
	恵 庭	4	49	49	0	0	79.34
	北 広 島	4	17	17	0	2	82.35
	長 沼	4	18	18	0	3	81.19
	由 仁	4	13	13	0	0	82.69
	小 計		185	192	7	9	81.55
8	え り も	4	23	23	0	0	85.87
	三 石	4	16	18	2	1	94.40
	様 似	4	18	18	0	1	76.39
	静 内	4	66	75	9	0	77.55
	浦 河	4	33	35	2	1	79.29
	小 計		156	169	13	3	82.70
9	伊 達	4	55	60	5	0	78.33
	室 蘭	4	50	50	0	0	67.91
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	88.30
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	73.02
	登 別	4	36	35	-1	2	82.86
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	80.56
	小 計		230	239	9	4	78.50
10	函 館	4	91	90	-1	0	83.62
	函 館 亀 田	4	43	45	2	1	79.44
	森	4	42	41	-1	0	75.50
	七 飯	4	20	20	0	0	66.20
	長 万 部	4	10	8	-2	0	62.50
	函館セントラル	4	0	30	30	2	75.83
	小 計		206	234	28	3	73.85
11	江 差	4	17	17	0	0	75.00
	函館五稜郭	4	63	65	2	0	89.14
	函 館 東	4	43	41	-2	4	82.69
	函 館 北	4	32	33	1	0	78.06
	上 磯	4	26	23	-3	2	56.50
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	188	-2	7	75.23	
12	白 老	4	23	21	-2	0	72.00
	苫 小 牧	4	56	58	2	1	63.71
	苫 小 牧 東	4	31	29	-2	3	85.33
	苫 小 牧 北	4	37	37	0	3	89.45
	小 計		147	145	-2	7	77.62
合 計		2,986	3,064	78	100	82.73	

SERVICE Above Self

